

ピアサポート及び地域における連携雇用システム作り ～生活訓練事業を行う3法人のたすき掛けプロジェクト2～

第24回日本精神障害者リハビリテーション学会長野大会
平成29年11月30日～12月2日

一般社団法人 スターアドバンス 千葉県船橋市・市川市
NPO法人 ヒーライトねっと 東京都江戸川区
NPO法人 SIEN 東京都葛飾区

タイムスケジュール

①事業所紹介

- スターアドバンス(たすき掛けの成り立ち) 10分
- ヒーライトねっと 5分
- SIEN 5分

②実習について

- 実習全体の説明～
～私の実習報告～
- 1. 高原&吉澤 5分
- 2. 小田代&遠藤 5分
- 3. 宮坂&金子 5分
- 4. 吉田&山中 5分
- 事業所の振り返り 10分

③今後(来年度)のこと 15分

- 質疑応答 10分

そもそもの始まりは・・・

- 前法人の時に、生活訓練の利用者さんたちが・・・
- ピアサポートに興味を持った
- 生活訓練の中で勉強会
- 地域活動支援センターに場所を移して勉強会
- 次の年も勉強会
- 次の・・・
- 「何年勉強すればいいんだろう??」



「ピアサポートに興味があり、ピアサポーターになりたい」
を実現したい！

- ➡「じゃあ実際の活動はどうするの？」
- ➡「ボランティアなの？」
- ➡「雇用はしてもらえないの？」
- ➡「ピアサポーターになったら、もう今のサービスは 使えないの？」



この時の、私の気持ちは・・・

- ➡ 法人内の勉強会にはすべて参加
- ➡ 愛隣会などで主催していた、ピアサポート専門員の講習会等にも参加
- ➡ 役に立つと思い「介護職員初任者研修」でヘルパーの資格も習得

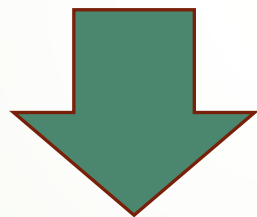
2つの立場の間での葛藤

- ➡ “利用者としての自分”と“ピアサポーターとしての自分”という2つの立場の間で葛藤に陥ることがあった。
- ➡ ピアサポーターとして活動しながらも、生活面のサポートも引き続き必要とする場合は、「生活のサポートをする事業所」と「ピアサポーターとして活動する事業所」が同じだと、そこにも葛藤がうまれた。

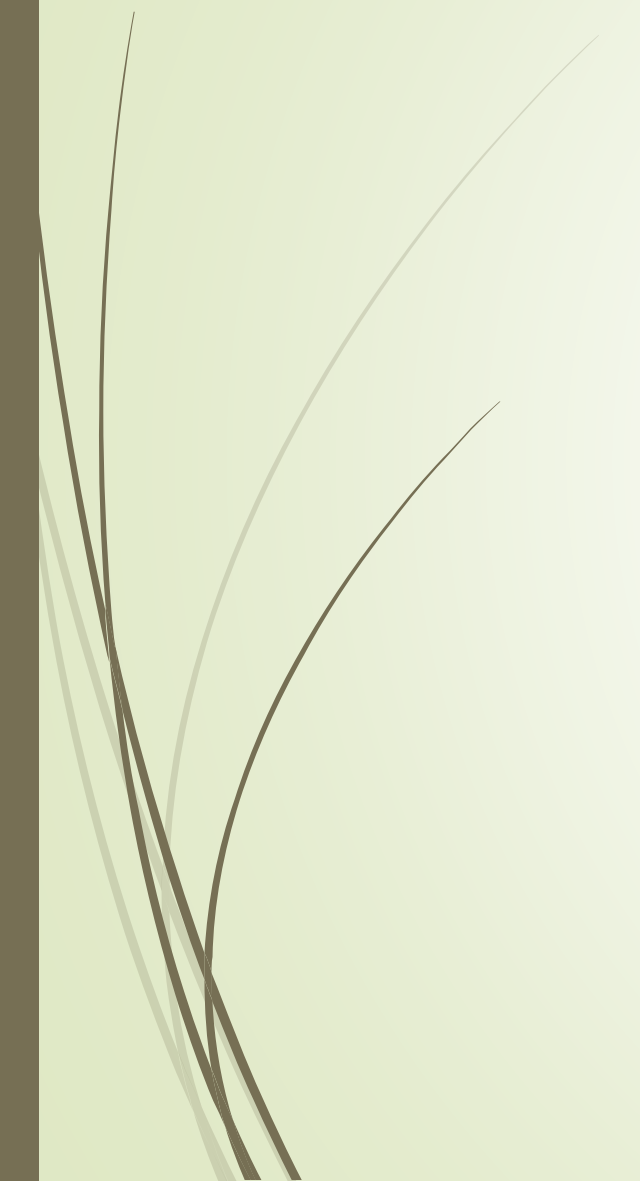


そこで・・・

- “目指す方向が同じ”
- “距離的に活動と一緒にできる”



- 3法人でたすき掛けプロジェクトを
スタート！！



スターアドバンスの現状

遠藤 紫乃

一般社団法人 スターアドバンス

H27.4.1～

- ① 多機能型 生活訓練・生活介護事業
定員20人（訓練14名・介護6名）
- ② 相談支援事業
- ③ 居宅介護事業＋「介護職員初任者研修」を開催（生活訓練のプログラム）
- ④ 就労継続支援B型事業 定員20人
（有料老人ホームの給食の委託、カフェ） ～生活訓練の就労準備コースの実習場所～

H27年 4月からスタートしました。（④はH28年5月から）

職員は、常勤6名＋1名(理事)、パート7名（ピアスタッフ4名）

常勤は全員、専門職。 精神保健福祉士は3名、他介護支援専門員、介護福祉士（7名）

遠藤 紫乃



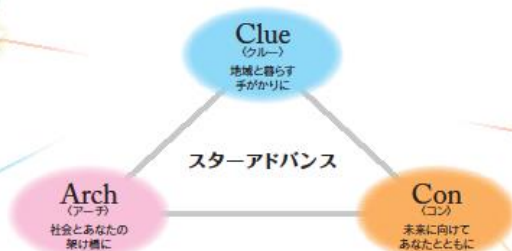
山中 直



小田代桂子



わたしたちが続けてきたことは、
あなたの“したい!”を支えること。



指定一般・指定特定相談支援事業所

相談支援事業所クルー

- ① ご本人の希望に基づき、主に福祉に関する相談に応じ、サービス等の利用計画を構築し、必要なサービス等が利用できるようにします。
- ② 地域移行に関する相談に応じ、計画を提案します。
精神科病院等に入院されている方が、退院後、安心して地域で暮らせるように、入院中からサポートします。



居宅介護事業・訪問介護(予防)事業所

アーチケアサービス

- 主に精神障害をお持ちの方の、自宅での生活をサポートします。
- ホームヘルパーが自宅へ訪問し、ご本人の希望や居宅介護支援計画等に基づき、必要な支援(家事援助、身体介護、通院介助)を一緒に行うことで、生活の質の維持・向上を図ります。



多機能型 指定自立(生活)訓練事業・指定生活介護事業所

コン

地域に開かれたお店「マリナズドーズ」で生活経験・社会参加などの訓練を行います。

●生活訓練

定員:14名

個別訓練計画に基づき、一定の期間※を通して、家事全般や金銭管理など様々な生活経験を積み重ね、一人ひとりが納得のいく生活力を身に付けるための練習を行います。
※原則は年以内

●生活介護

定員:6名

個別支援計画に基づき、生活等に関する相談及び助言やその他の必要な日常生活上の支援、また様々なプログラムの機会を提供することにより、人との関わりや社会参加を促し、より充実した生活を送るための支援を行います。

コンの通所コース

多様なニーズに合わせた3つのコースの中より選択し、それぞれの目的に合ったプログラムに参加していただけます。

①自立生活コース

最大2年間で、自分なりの生活スタイルが作れるようにサポートします。
※原則として、利用開始から1〜2ヶ月の間は定期的に自宅訪問させていただきます。
プログラム例: 社会生活力プログラム、地域資源活用プログラム

②就労準備コース

原則1年以内を目標に、就労に向かって就労移行支援事業等への準備ステップへ進みます。
プログラム例: 介護職員初任者研修・接客・清掃・内職(不定期)・畑作業・衣類のデザイン及び販売 etc.

③充実生活コース

美味のあることを取り入れ、より充実した地域生活を送れるようサポートします。
プログラム例: ネイルアート・フラワーアレンジメント・料理教室 etc.

- 生活介護の方は●をご利用いただけます。
- その他、ピア活動に関する勉強会も開催しています

●ある週のコン開所スケジュール (開所時間 11:00〜17:00)

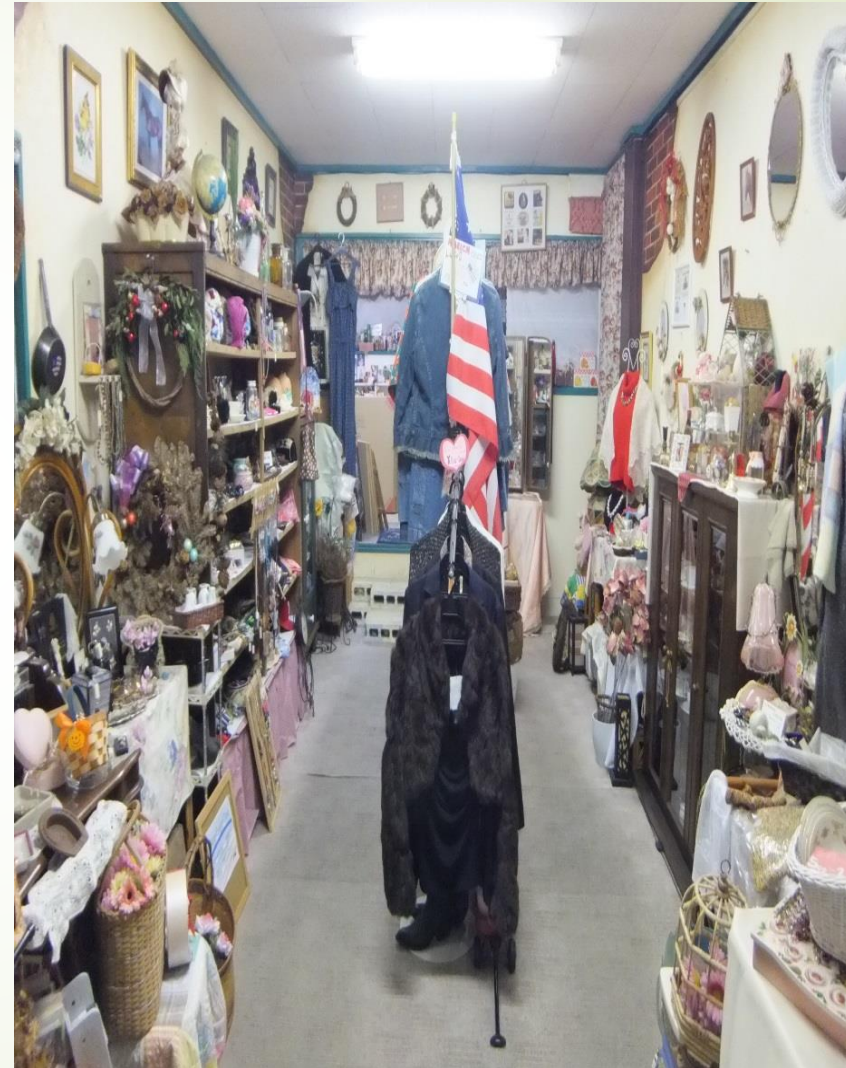
	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○ ビーズ	○	○ ヨガ	○ 社会生活力 プログラム	○	○ 介護職員 初任者研修 ●就労準備コース
午後	○ 地域資源活用 プログラム	○	○ ピア勉強会	○ ネイル	△ 14時まで		



訪問型生活訓練

主に引きこもりの方を対象に、自宅に訪問してアセスメントを実施し、必要な支援を行います。

多機能型 生活訓練・生活介護事業所 コン(Con)





クリスマス仕様です～





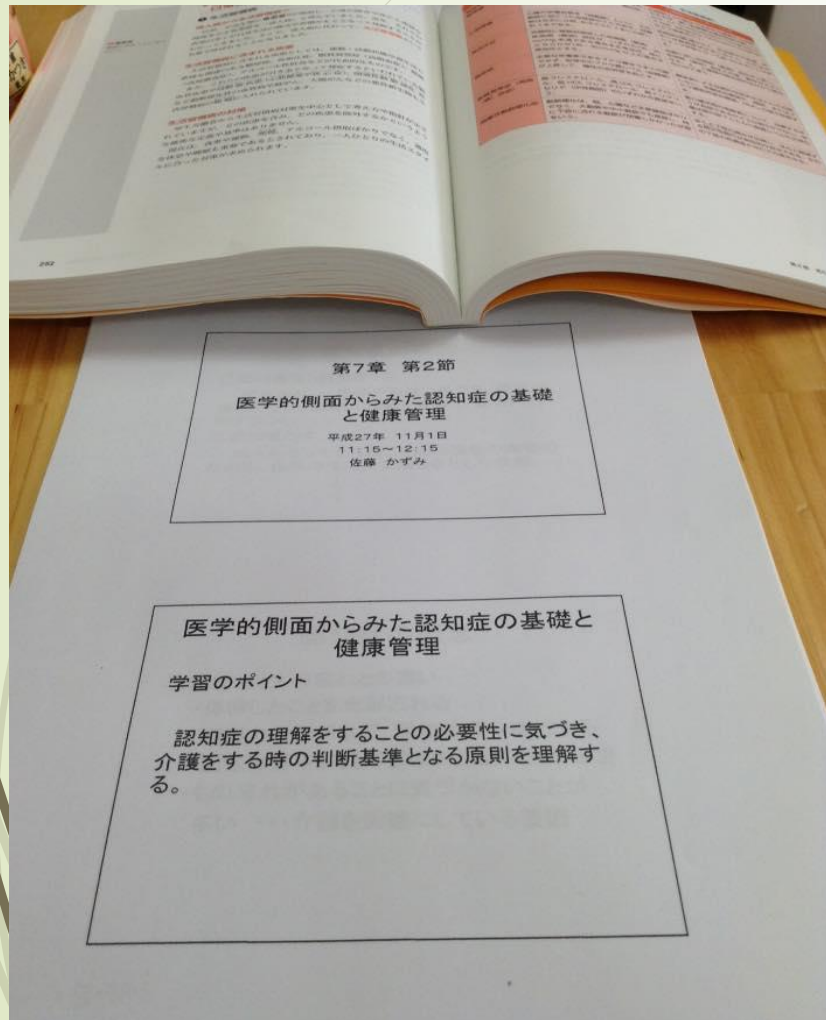
ヒーライトねっとの生活訓練 「ゆい」 と一緒に当事者研究

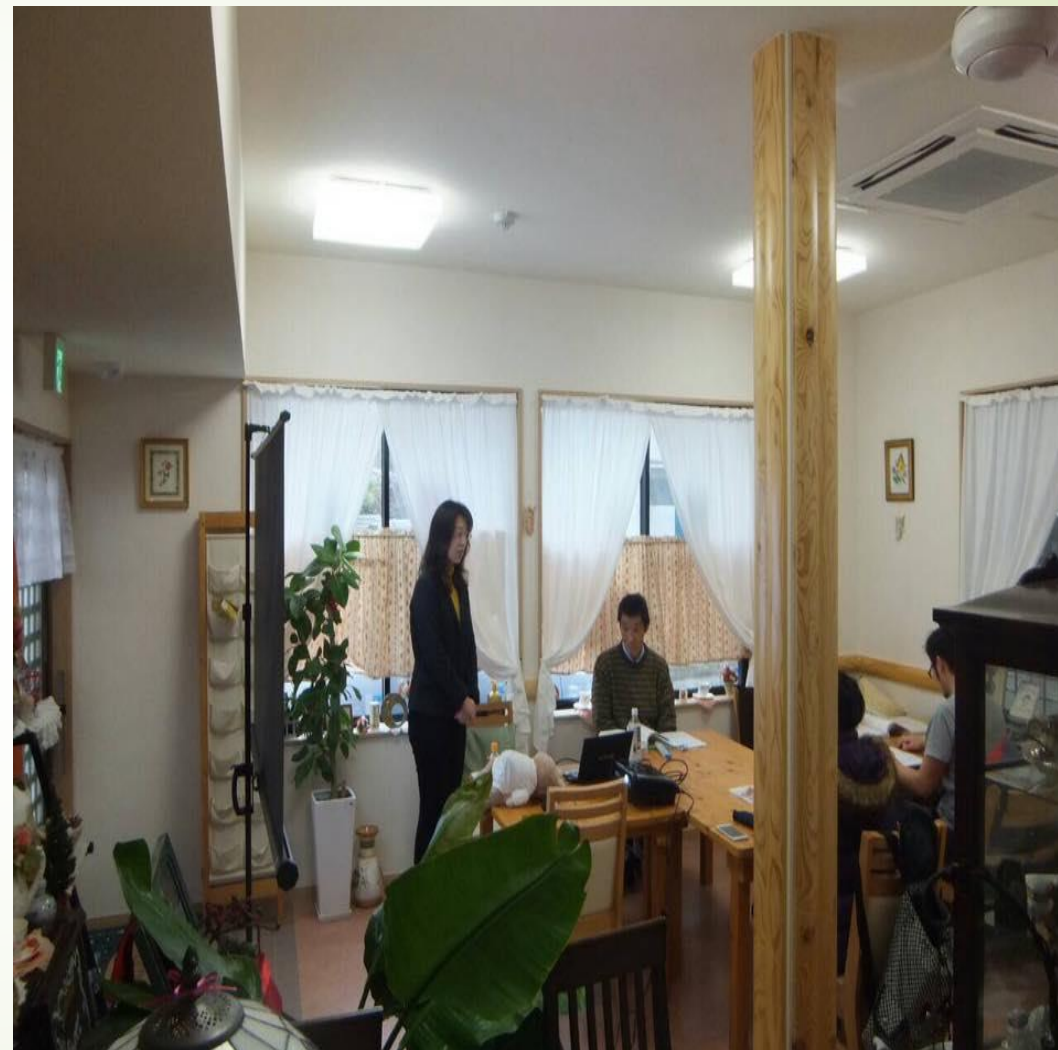
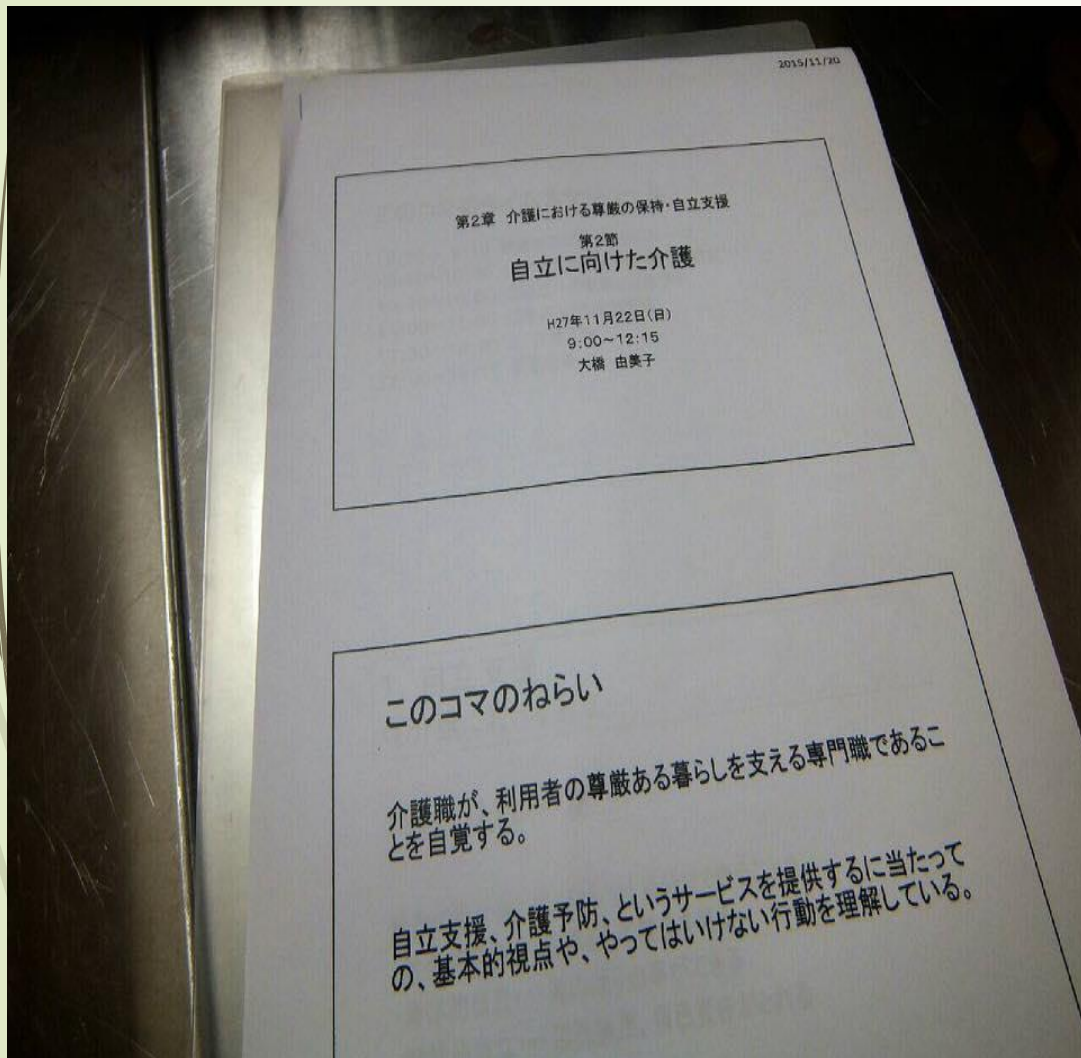


「たすき掛け」
の前から
いろいろと
交流があり
ました～

介護職員初任者研修

NPO法人 S I E N
看護師・保健師 佐藤さん







一般社団法人スターアドバンス

目的及び事業

当法人は、障害を持って地域で暮らしている人が「その人なりに」暮らし続けるためのサポートを行い、誰もが住みやすい街づくりを行うことを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- **理念**……障害があっても、地域で「その人なりに」暮らし続けられる地域を創ります

(どのような経営スタンスを貫くかとい基本的な経営スタンスを明確化するもの。
「行動のもととなる考え方」)

- **ビジョン**……地域生活のための「断らない福祉」を実現し、「ソーシャルアクション」を起こします

(経営姿勢のもとに、自社の目指す将来の姿を、職員や利用者、そして社会に対して表したものの。「なりたい姿」)

- **ミッション**……障害を持つ人のリカバリーの支援を行います。

(社会における自社の存在意味や果たすべき使命を普遍的な形で表した、基本的価値観を表明したもの。「果たすべき役割」)



経営理念

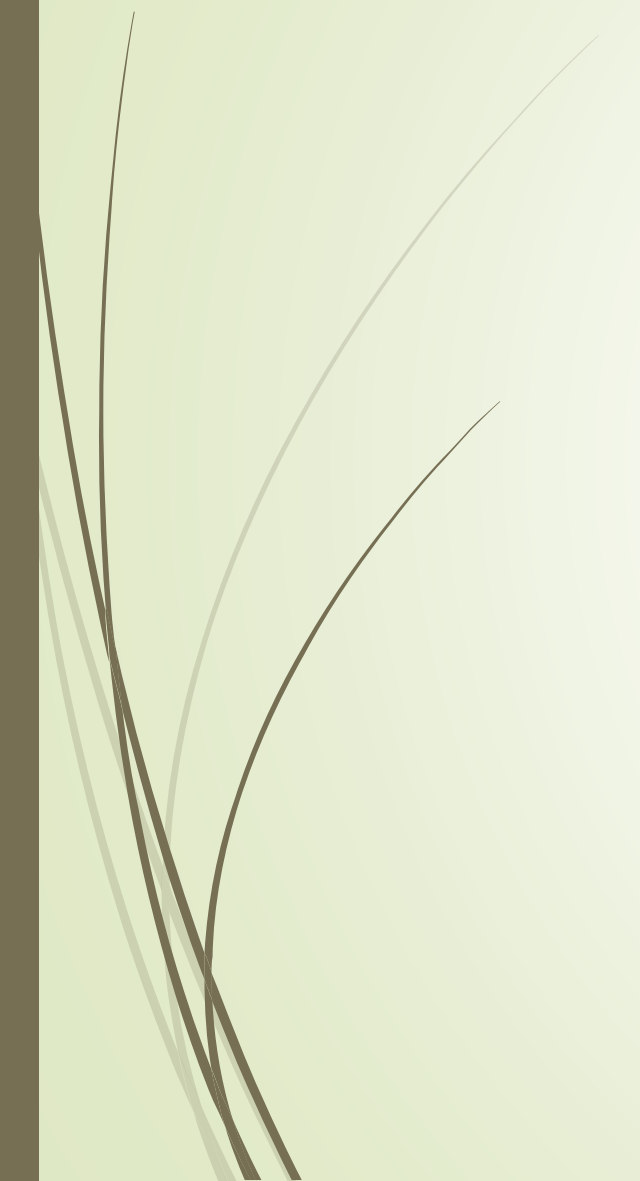
「その人なり」の地域生活

ビジョン

ソーシャルアクション

ミッション

リカバリー



ヒーライトねっとの現状

河野 文美

特定非営利活動法人ヒーライトねっと

- ➡ 法人設立 平成23年12月 / 事業開始 平成24年4月1日

法人理念

「ひとりひとりの自己実現と、誰にとっても暮らしやすい街づくり」

- ➡ ヒーライトねっとの名前の由来
「平井から、明るい、ネットワークをつくっていきたい」
という、おもいをこめて♡

特定非営利活動法人 ヒーライトねっとの事業

遊牧舎（暮らし）

＜地域生活体験室＞

- ・短期入所 1室

⇒短期宿泊支援を提供

⇒地域生活における自立ニーズに対するマネジメント。

- ・区自立生活体験事業 1室（委託）

⇒退院支援、レスパイトなどに対応。

- ・地域移行体験事業

＜介護サービス包括型GH＞

GH 3年利用 20室（通過型GH）

GH 半年利用 4室（ミドルステイ）

⇒住まいの支援を提供

⇒单身等地域生活移行をマネジメント

くらふと（相談）

＜相談支援事業所 1か所＞

- ・東京都指定一般相談支援事業
- ・江戸川区指定特定相談事業
- ・江戸川区視程障害児相談支援事業

地域移行 地域定着

＜区精神障害者地域生活安定化支援事業＞（委託）

ゆい（通所）

＜自立訓練（生活訓練）＞

10人

⇒日中活動支援を提供

⇒地域生活における日中活動等をマネジメント。

⇒訪問支援を提供

⇒潜在的な自立ニーズに「アウトリーチ」

＜生活介護＞ 20人

⇒高齢の方や重複障害の方などの個別枠のサービスがある通所事業

アクティビティサポートセンター ゆい

自立訓練（生活訓練） 通所



おひとりおひとりの

「本来こうありたい」

と思うような過ごし方の実現を応援します

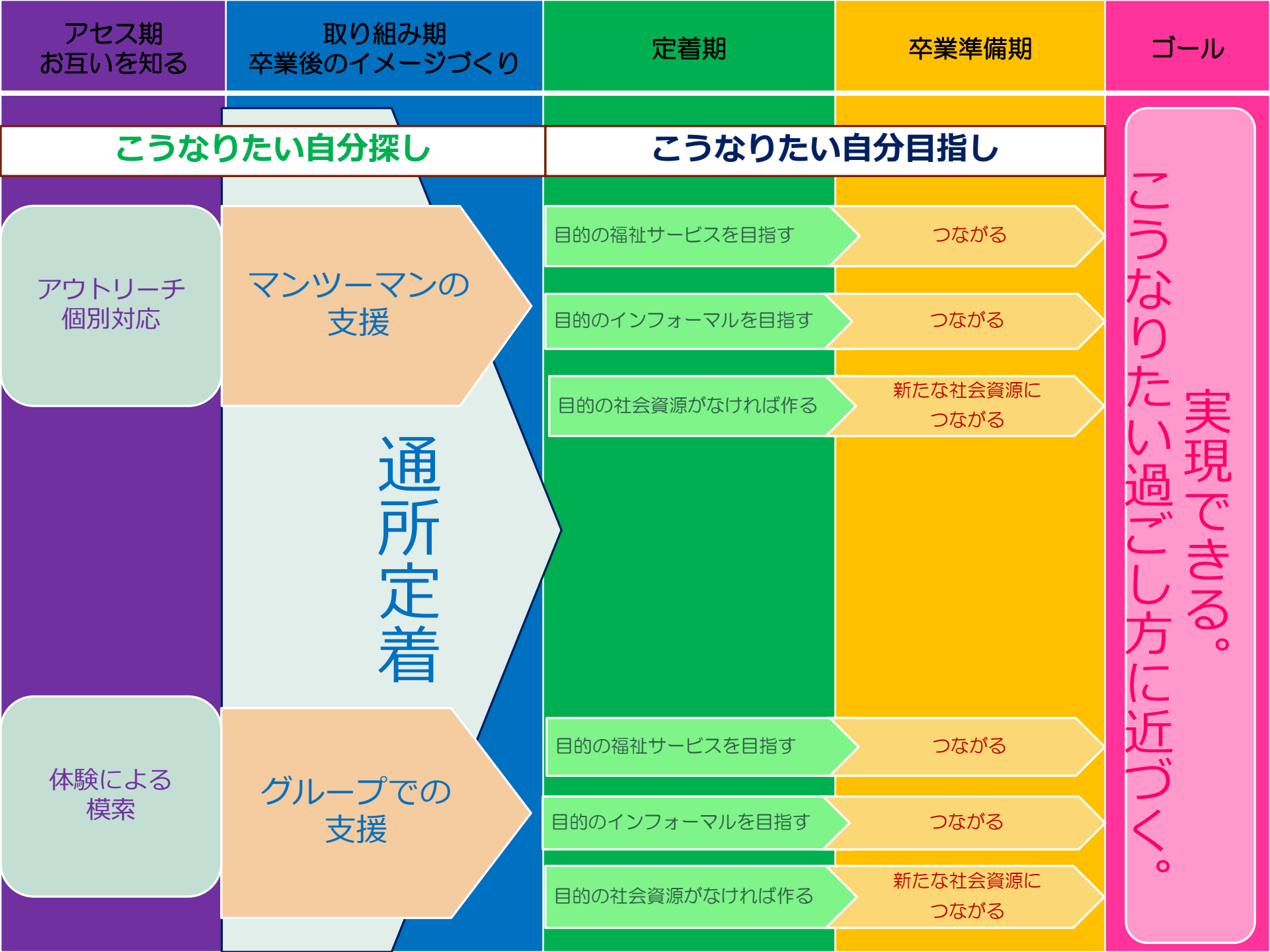


アクティビティサポートセンター ゆい 自立訓練(生活訓練)

事業開始 平成24年4月1日

スタッフ配置 管理者1名
サービス管理責任者1名
生活支援員 3名
訪問支援員 1名
(生活介護事業所と多機能型のため、兼務スタッフあり)

登録人数 21名



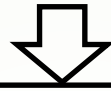
通所定着

ニーズ	プログラムで グループ作り	グループのニーズ	協力者を入れて 深める	つながり先 作った社会資源	活動内容
ゲーム好き	ゲーム好き 集まれ!!	ゲーム好きの仲間づくり ゲームに携わる仕事がしたい	PC工房 (B型) ×ゆい ゲームプロジェクト	PC工房 ゲーム関連の新規事業 立ち上げ予定	アプリ、ゲームの制作 萌えPC,萌えCD制作
絵 創作	絵画 Emamima ハンドメイド 絵手紙 ネイル	Lino Art HRI - 平井から アートで町おこし - アートに興味のある方に対し、 アート活動から社会参 加とつながりづくり	ゆいと講師の方々 ×地域のアーティ ストやデザイナー つながりの方々× PC工房 (B型)	PARK	作品出展場所と アーティスト活動 設外就労、在宅就労 作品のプロデュース ワークショップ
人にありがとう って 言われたい	ボランティア活動	ボランティアから 社会参加とつながりづくり	小学校 江戸川区 土木部水 とみどりの課 ペットショップ MIZUKAN	エコキャップボラ 水やりボラ ペット散歩ボラ MIZUKAN (ゴミ)	エコキャップ届ける 交番前の水やり ペットの散歩 区内の水辺のごみ拾い
音楽好き	音楽	好きな音楽で人の役に立ち たい	ボラ仲介 YAMAHAの人 教会牧師	ボランティア ヒーリングライツ	被災地ボラ 喫茶店、高齢者や障害 者の福祉事業所 コミュニティーカフェ
スポーツ好き	カヤックボラ フットサル テニス・卓球 バレー 筋トレ	スポーツの仲間づくり 土日の過ごし方 大会出場など活動の企画	MIZUKAN 地元の福祉 専門学校の学生 ×ゆい	MIZUKAN スポーツLOVER	区内の水辺を楽しむ 区民の方々をカヤック に乗せるボラ スポーツサークル活動
ピアサ ポーター に なりたい	WRAP 当事者研究 ピアの勉強 会活動	ピアに興味のある 方、自分の経験を 生かし人の役に立 ちたい方々が集ま り模索中	ピア活動の事 業所 生活訓練事業 所のネット ワーク	たすきがけ プロジェク ト	他事業所と合 同プログラム にて、プロ ジェクト始動
高齢の利用者	健康・リハビリ 楽しみを見つける	デイサービスのよう な利用	ネイル、メイク フラダンス、ヨガ ウォーキング	生活介護	デイサービスのよう なプログラム



たすきがけにつながる経緯

ピアサポーターになりたい！
こう在りたい過ごし方はみつけたけど・・・

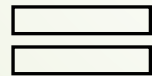


ピアサポーターのつなぎ先がない！！！！



連携のメリット

抱え込まない雇用



変わらずサービスをうけられる

利用者・スタッフの立場の葛藤がなくなる



近隣のピアネットワークの活性化

ピアサポーターにはなりたいけど・・・

自分が携わっている事業所しか知らないの
で・・・

知らない事業所で、自分が働いている
イメージがつかれない・・・

知らない事業所には、関係性があり
安心できる人たちがいない・・・

ピアサポーターの活動をもっと知りたい

連携事業所の体験企画

ピアサポーターの見学や
合同勉強会

たすきがけプロジェクト 法人内の役割分担

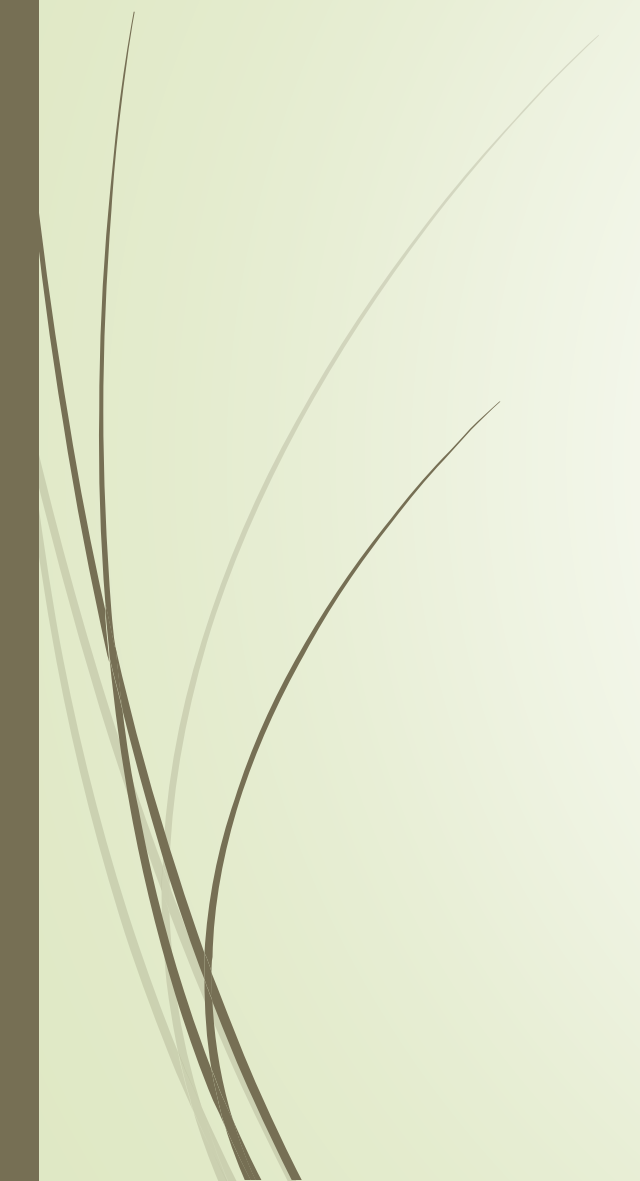
生活訓練スタッフ

- ピアサポーターになりたい人を発掘
- ピアに興味を持つ、個別、グループの育成
- 合同プログラムで、ピアサポーターネットワーク構築とアセスメント

役割分担

法人

- ピアサポーターの雇用について、受け入れ整備
- 他事業所をまたいだ調整
- 雇用内容や人件費、条件の打ち出し



SIENの現状

鎌田 康司

特定非営利活動法人SIENの紹介

理念

1. 葛飾区での精神障がい者の在宅支援を行います
2. 長期・社会的入院者の退院支援を行います
3. 当事者の方と共に「その人らしい生活の在り方」を考えます
4. 医療・福祉・介護、その他の地域サービスをつなぐ活動を行います
5. 関係機関との連携を深め、地域で支え合う関係づくりに努めます

私たちが大切にすること

1. 個々の専門性を尊重し、認め合うこと
2. 自ら(個人・チーム)の課題に真摯に向き合うこと
3. 一人の生活者としての視点を常にもつこと
4. 多様な価値観・生き方があるということを忘れないこと

SIEN沿革

2010年3月	NPO法人SIEN開設
2010年4月	『地域活動支援センター なぎ』開設（地域活動支援センターI型）
2010年7月	『ヘルパーステーション しえん』開設
2011年4月	東京都退院促進支援事業・退院促進コーディネート事業委託（なぎ） 精神科病院に長期入院中の方の退院支援に従事
2011年5月	『訪問看護ステーション りゅう』開設
2012年4月	『相談支援事業所地域活動支援センター なぎ』設立
2014年3月	『相談支援事業所 さい』設立（名称変更） ※『相談支援事業所 地域活動支援センター なぎ』を『相談支援事業所 さい』に名称を変更
2014年3月	『生活訓練センター そう』設立
2014年12月	『ヘルパーステーション しえん』事業終了



生活訓練センター そう

- ・ 自立訓練（生活訓練）事業
- ・ 定員 20名
- ・ 対象 精神障がい
- ・ 職員 作業療法士、介護福祉士など
- ・ 事業目的

精神障がいのある方の生活上の目標に寄り添い、
より自分らしい生活を送るための、支援を行う事。

たすきがけプロジェクト

①当事業所の現状

現在は、スタッフのみの参加となっている。スタッフがピアサポート及び就労について考え、事業所としてピアと協働することの、基盤体制作りの段階である。

②取り組みの過程でおもふこと

この事業では、訪問・通所ともに、ピアとしての支援が必要な対象者がいる。適材適所でその強みを活かすためにも、事業所において協働体制を確保する必要がある。ピア自身も、健常者と同じように、**事業所にとって「この人が必要」**と思われるよう、自己研鑽に努める必要がある。たすきがけ雇用することで、「スタッフ」としての立場が確立されること、**同様の事業種・理念を持った事業所の為、自身の受けてきた支援を、新たな地域の利用者のリカバリーに活かす事が出来る。**



③今後の予定

始まったばかりだが、今参加しているメンバーが、プログラムを通して何を感じ・考え・求めるか丁寧に振り返りながら、ピアサポート及び就労に必要な、プロセス作りを行っていききたい。

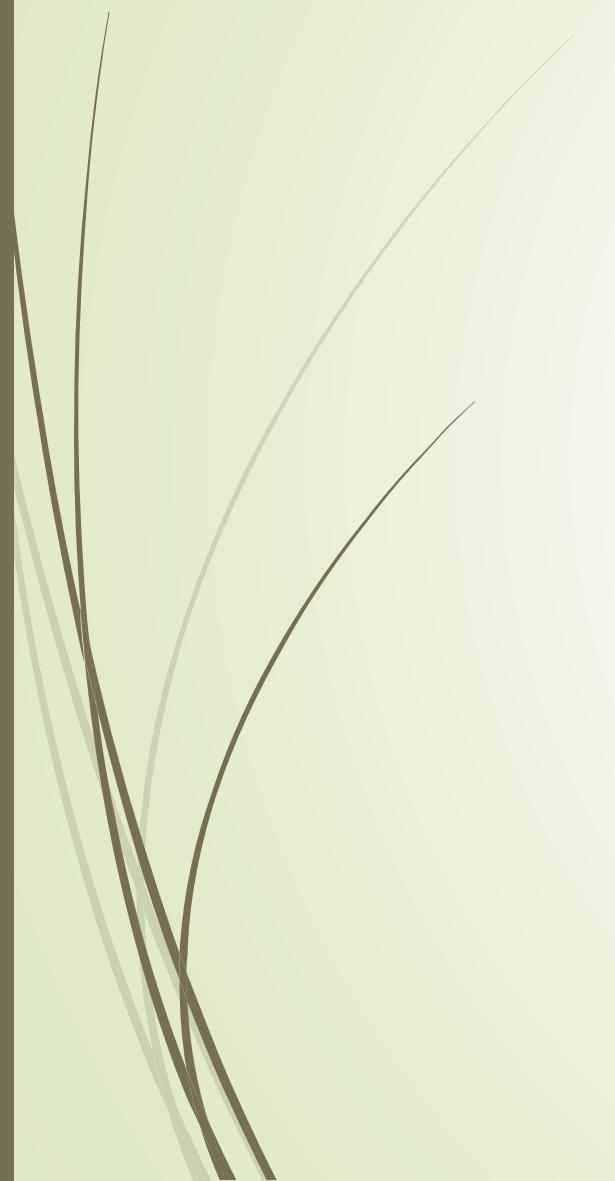


プロジェクトスタート！！

- H27年8月20日(木)からスタート！
- 月1回 会場は3法人持ち回りで
- H27年度は、ミーティングや見学に
- H28年度から実習スタート



第1ステージ：実習前までのまとめ

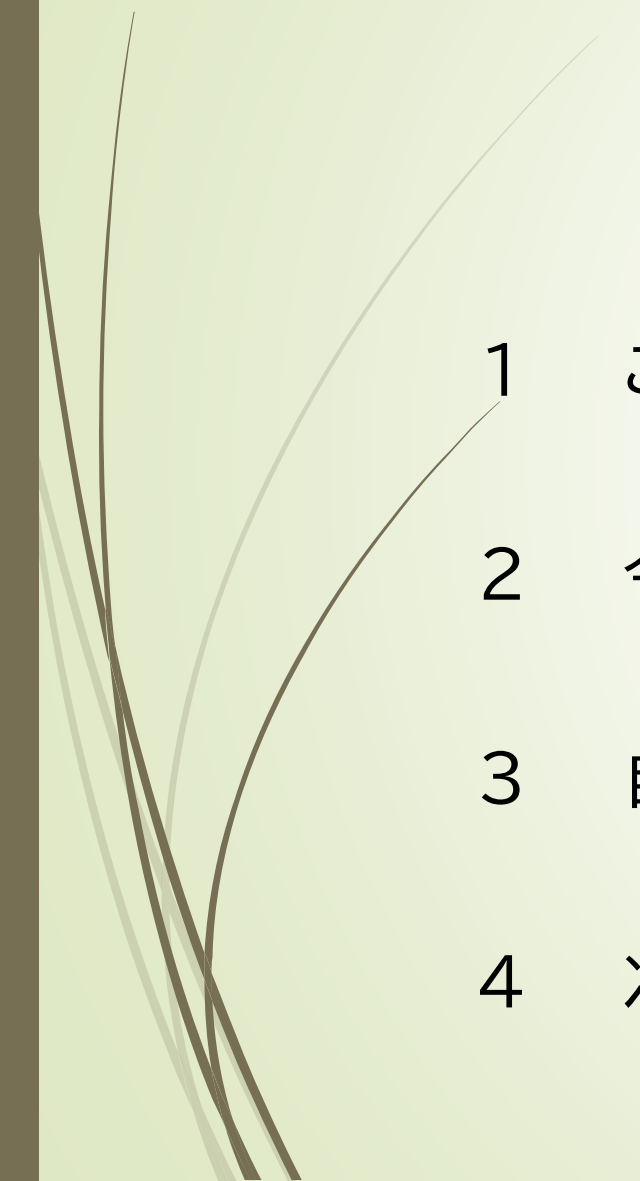




第1回目 たすき掛けプロジェクト♪ 次第

8月20日(木)@そう

10:00~12:00

- 
- 1 この会の趣旨
 - 2 今日のルール
 - 3 自己紹介
 - 4 次回の会の内容



スターアドバンス

A・B・C

ヒーライト

あ・い・う

SIEN

●プログラム(定期勉強会)@生活訓練・・・月1回(木曜日10～12時)・・・各法人で順番に持ち回り&外部見学

●研修会・精リハ学会参加

参加者・・・各法人職員1名～&生活訓練利用者(A・B・C・あ・い・う・1・2・)

スターアドバンス

あ・1

ヒーライト

A・2

SIEN

う

提供できること

- ・きなりでの仕事(調理・清掃他)
- ・コンでの訪問
- ・コン(通所)でのピアスタッフ
- ・アーチでのヘルパー
- ・介護職員初任者研修でのスタッフ

- ・保育士の指導の下での保育フォロースタッフ
- ・ゆいでの訪問
- ・ゆいのホール
- ・病院訪問
- ・体験室での生活体験(一緒にコンビニに行くとか)のお手伝い
- ・体験室の片付けや清掃

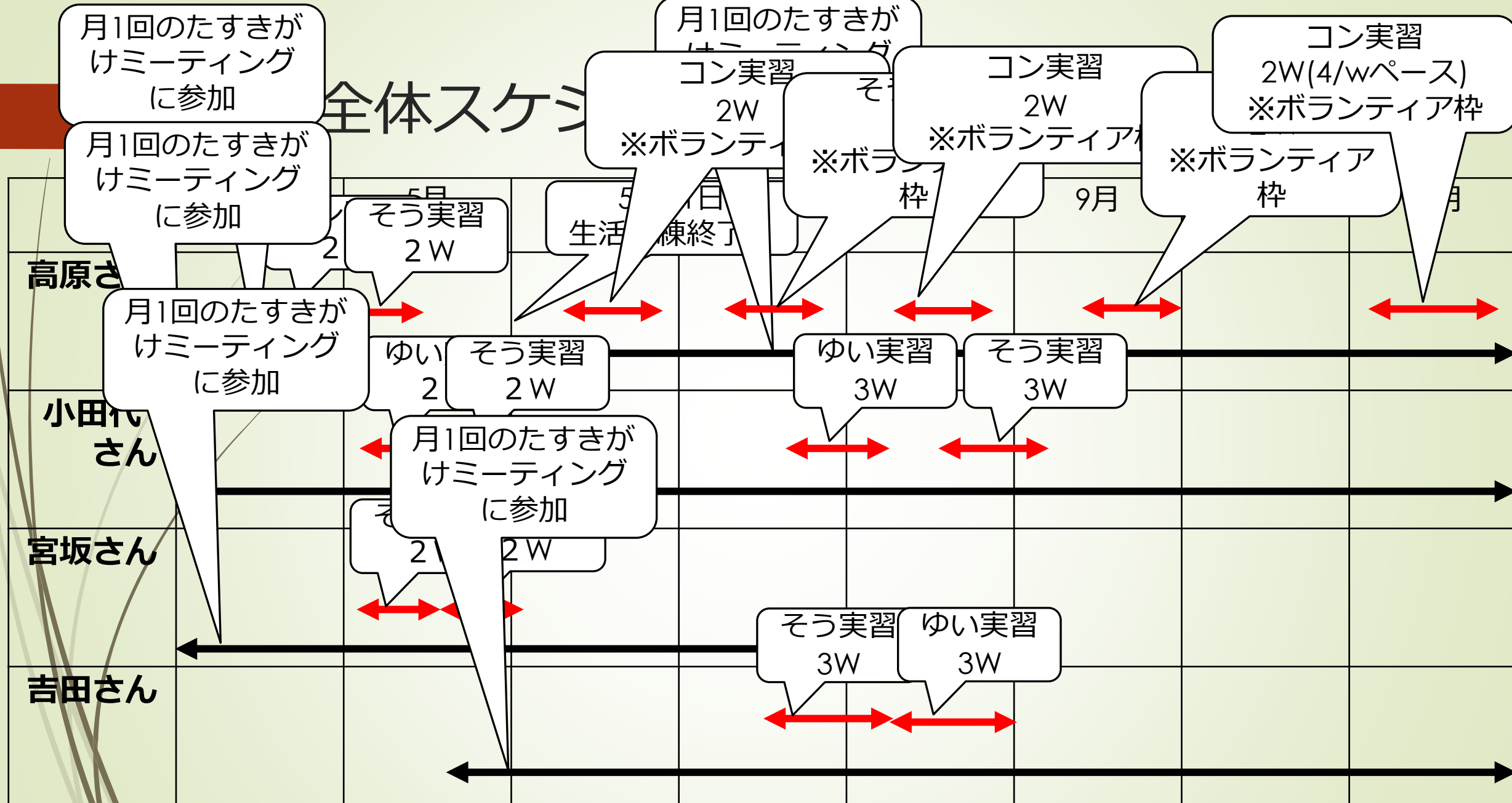
介護職員初任者研修



実習全体

- 生活訓練事業所でのたすきがけの特色
- 訪問もできる→初任者研修受けておいて良かった→掃除等の日常のアドバイスを出来るのは大きい。対人援助職の基礎も学べる。
- 生活訓練はピアで運営していきたい。初任者研修持っていれば、5年でサビ管！！

全体スケジュール





高原 & 吉澤



小田代&遠藤

宮坂 智美

さんの実習

プロジェクト
の参加経緯

5年位前にヘルパー2級を取得後、老人ホームで働き、その経験を活かしたかった。

	実習先	期 間
やったこと (参加プログラム)	そう・・・オセロ・ヨガ・ストレッチ・レクの企画・散歩 ゆい・・・卓球・ピアミーティング・カラオケ・フラダンス・ハンドメイド	
心がまえ（役割）	同じ病気の利用者さんと一緒にプログラムを受け、分かち合いたい。	
良かった点	皆それぞれ悩みを抱えつつも、頑張っていると分かり世界が広がった。	
課 題	気配りや周囲の状況を伺わっての行動が必要	

吉田 信浩

さんの実習

プロジェクト
の参加経緯

以前通っていた事業所でピアサポートの勉強会に参加していたことがあり、現参加メンバーから誘われたことをきっかけに参加。

	実習先	期 間
やったこと (参加プログラム)	S S T、M E G U'Sキッチン、フラダンス、 みんなでしゃべり場、ライブハウスゆい、 スポーツ（バレー）、ピアミーティング	
心がまえ（役割）	お客様ではなく、職員として実習に参加すること。	
良かった点	2か所の実習に参加して、参加前と気持ちや心構えが変わった。	
課 題	注意すべき場合や、受け答え全般に力不足を感じた。	

プロジェクトに参加して ～今後こうしていきたい～

- ※実習に行ってみて、〈今後ピアサポーターとしてやっていく〉とか〈やっぱり別の道を選ぼう〉とか。

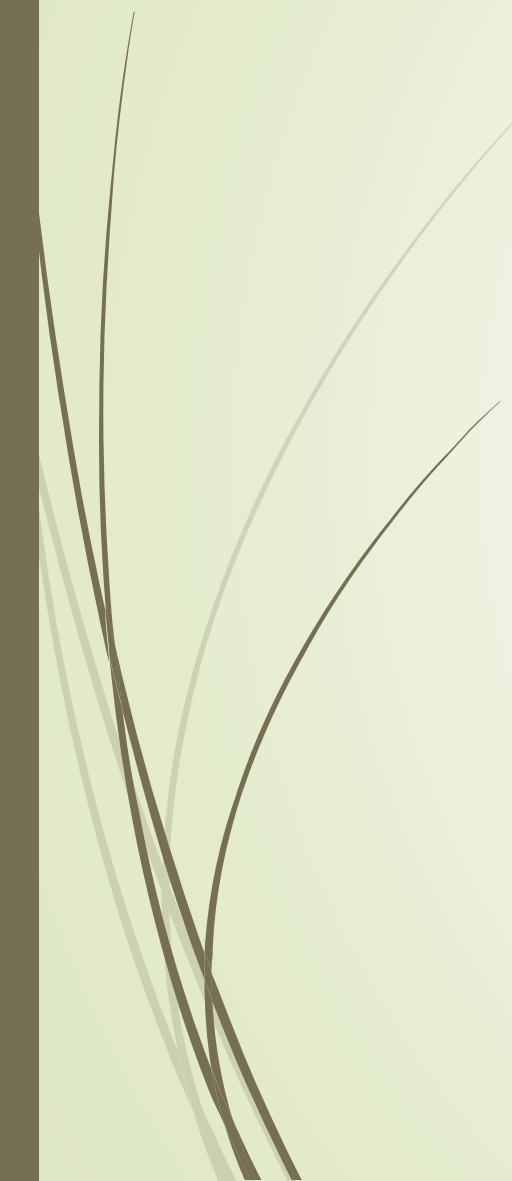
※実習に行っていないけど、これからどうしていきたいか。

参加のきっかけ・・・行政のサービスを受けられない人にもちゃんと声をかけていきたい→もやいでの経験を通して感じている。

- ・中1日での日程もよかった。
- ・ピアとして実習に入っているので受け入れ良好。
- ・ピアサポートを受ける・提供する側の両方を経験
→久保山さん、訪問の時の話をお願いします！！



事業者の振り返り



実習施設として振り返ってみて…

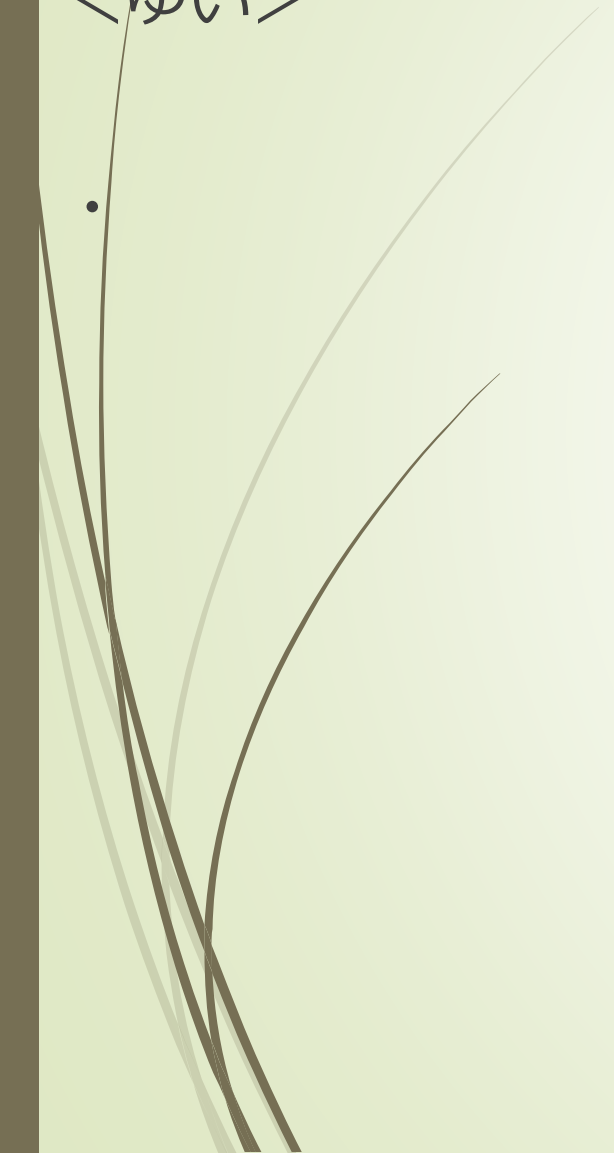
<コン>

- 職員配置や週間予定の作成が必要。
- 連絡先の1本化の必要性。
- プログラムの主旨は理解されているもピアサポーターとしての立ち位置への配慮が必要。
- 生活訓練を経験されているので、直ぐにスタッフの立場で動ける。
- 訪問型:経験を活かしての声掛けが出来るので言葉が響きやすい。
- 通所:生活上の悩みに対して具体性があり、話しやすい存在になる。
- 職員側からは安心感(聞きだし方等で)がある。

実習施設として振り返ってみて...

<ゆい>

・



実習施設として振り返ってみて...

＜生活訓練センターそう＞

- ・生活訓練を受けた経験があることで、この事業の強みやリカバリー像が共有しやすい。
- ・他事業所で働くことで、良い意味での緊張感と、「利用者」ではなく「スタッフ」
- ・ピアスタッフの真剣な取り組みに対し、「自分の為に頑張ってくれる！！」
- ・「良くなります」「治りますよ」
- ・職場以外での相談体制確保の必要性。

今後のこと

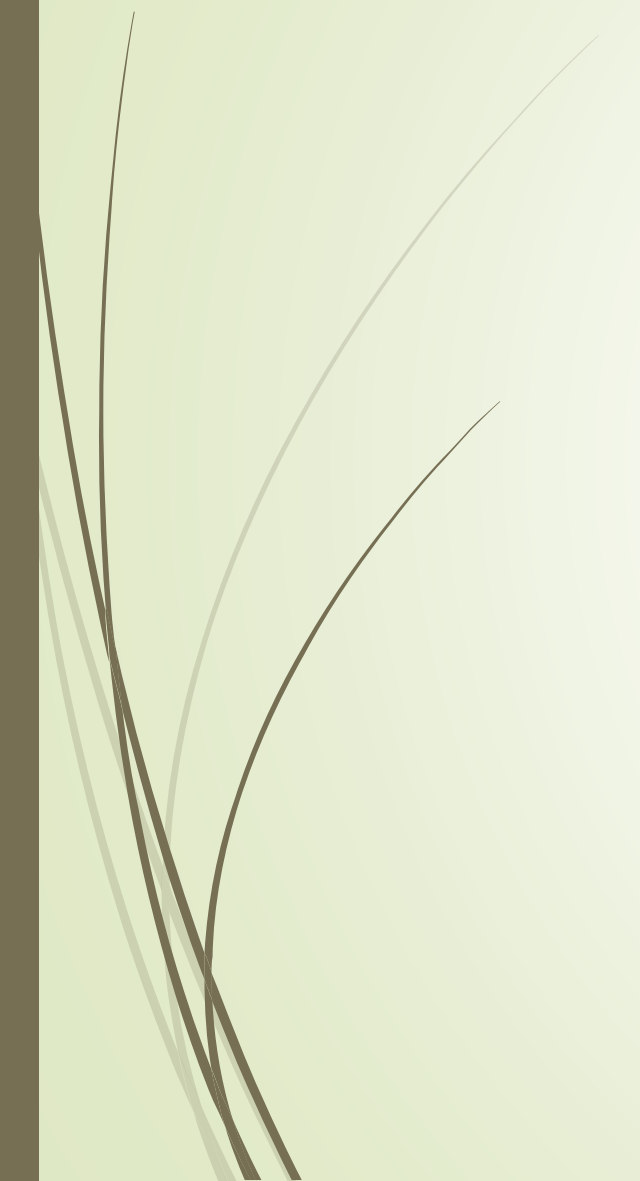
■ 来年度への期待

→有償ボランティアとして「賃金」発生？

→“雇用“となった際の採用要件・基準が気になる。

訪問に比重を置いた活動

→個人の特性に合わせた日程調整



質疑応答

第3回目 たすき掛けプロジェクト♪ 次第

10月22日(木)@コン
10:00~12:00

- 1 今日のメンバーの自己紹介
- 2 事業所側が、お願いしたいこと
コン ①コンの通所のスタッフ ②コンの訪問 ③ラプエのスタッフ
④ヘルパー ⑤介護職員初任者研修の運営スタッフ

ゆい

そう
- 3 メンバー側がやってみたいこと
- 4 次回の予定 来月の木曜日のどこか？



次回(11月の2か月の予定) <メンバー側からやってみたいこと>

<まだ7リニク見学>

- ・手配時間、給食
- ・困ったこと、事務仕事量
- ・たいすけ、不調時の様子(特)
- ・利用者の情報どうして?
- ・記録の方法、連絡先、あてはいる?
- ・ピアスタフの立場をどう考えているか(スタフと関係)

12月後半ナベ、ア見学→2月〜実習スタート?? →その辺りをこの会でやっていく

・スターアト・ハンス

- ・通所のスタフ・訪問ラプエ(カネ)のスタフ
- ・ヘルパー・介護職員初任者研修のスタフ(運営)
- 今はスタフ、メンバーと話そう(幻聴、体験をもとにした話)

・ゆい

- ・配せん・ピアスタフ・プログラムのアシスタント
- ・入院中の人の訪問、体験談、話を聴く
- ・活動の準備、片付け
- 音楽、スポン、マージン

・そう

- ・PC、ケータイの使い方
- ・体験談
- ・ひさこりの方への訪問
- ・一人で外出できない人と一緒に外出

・実習中は1ヶ所に2人くらい? 1人にならないように。

・例えに、コンには小野さん高橋さんが来る時は小田代さんを居るようにするとか、自己紹介をジャンルを統一、ルーティンとして決める、覚悟禁止。

<メンバー側からやってみたいこと>

- ・スタフと通所に訪問、通所に来れない人に対して、外に出られるように、聴き上手なので、話を聴く。グループのまとめ役、訪問して掃除、調理を。
- ・お菓子作り、ガトーショコラとか、レシピアレンジしたり、お菓子作り、メール、LINE
- ・通所のスタフ、訪問ラプエ(カネ)のスタフ
- ・ヘルパー・介護職員初任者研修のスタフ(運営)
- 今はスタフ、メンバーと話そう(幻聴、体験をもとにした話)

・ゆい

- ・配せん・ピアスタフ・プログラムのアシスタント
- ・入院中の人の訪問、体験談、話を聴く
- ・活動の準備、片付け
- 音楽、スポン、マージン

・そう

- ・PC、ケータイの使い方
- ・体験談
- ・ひさこりの方への訪問
- ・一人で外出できない人と一緒に外出

・実習中は1ヶ所に2人くらい? 1人にならないように。

・例えに、コンには小野さん高橋さんが来る時は小田代さんを居るようにするとか、自己紹介をジャンルを統一、ルーティンとして決める、覚悟禁止。

<実習のイメージ>

訪問・同行

- その地域のことを教えてもらう。

通所

- 実習の前に1日体験、各通所所で連絡とあってスタフ、メンバー1人ずつくらい1日通所に連れてもらう。
- ・アリススペースはスタフしかいないから、何かプログラム、イベントの時がチャンス?

実習に行くなら・・・

- ➡ 一人だと不安
- ➡ コンに実習に行くなら・・・小田代さんが通所してる日がいいなっ♪
- ➡ 住んでる地域を知りたいっていうニーズには、その地域のピアが対応した方がいいかな～？



第4回目 たすき掛けプロジェクト♪

多機能型事業所「マーレ」見学
(生活訓練・就労移行)

参加者	スターアドバンス	5名
	ヒーライトねっと	3名
	SIEN	3名





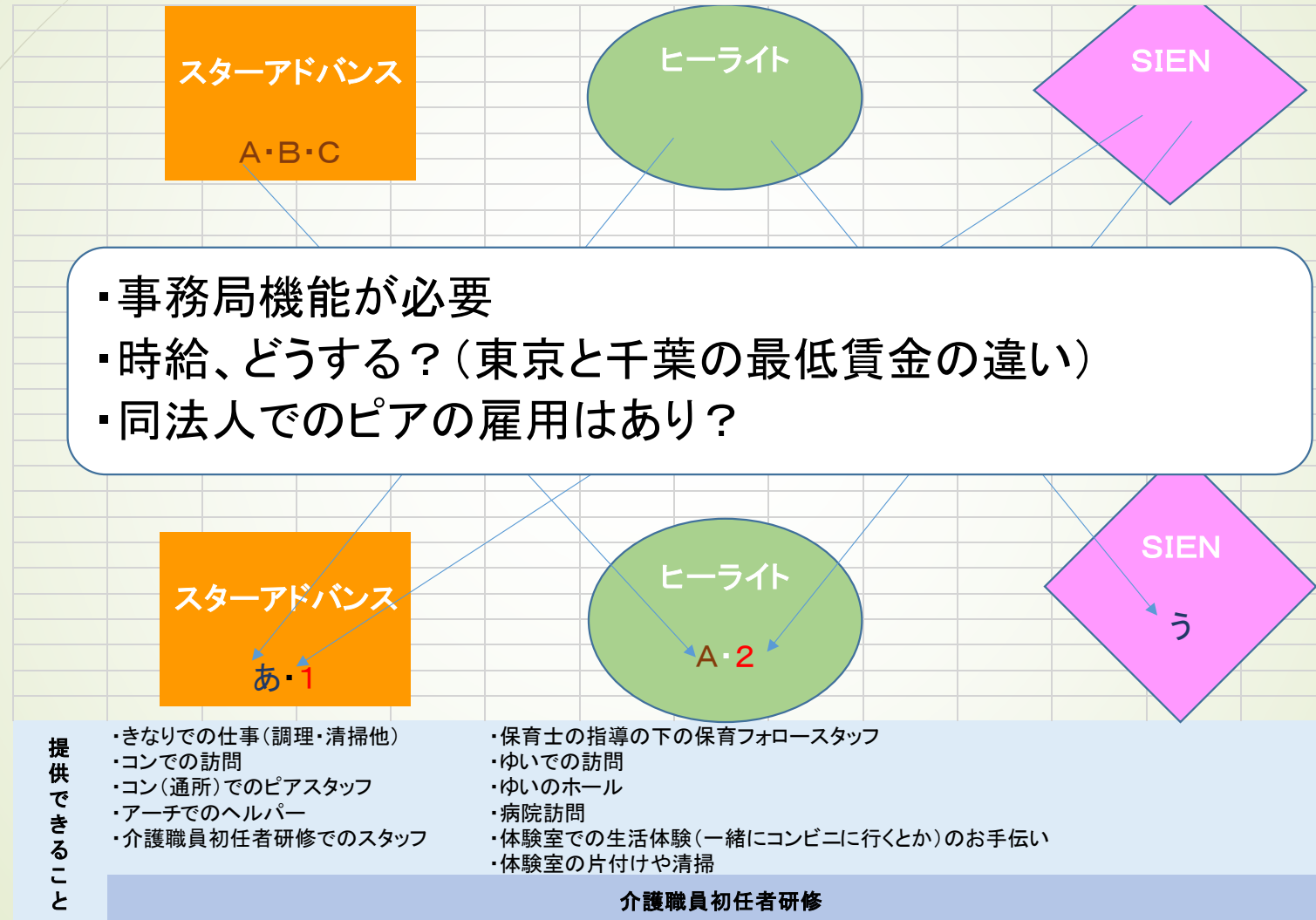




見学しての感想

- 完成されすぎ！？
- 休まない(°o°) 次の日行きづらくなっちゃうから・・・。
- ピア自身が、特性を生かしたマッチングをしているところがすごいな～～。
- ピア同士ですごい相談する！（デイケアのスタッフに

今まで話し合った中での課題





3. 取り組みの過程

～具体的な取り組み内容と今後の予定～

- ➡ 12月10日(木) 11～14 「すぺいろ」 見学

- ➡ 1月 実習の枠組み作り

事務局の機能をどう持つか

集まる頻度はどうするか(振り返り)



第2ステージ 実習・実習ケースカンファレンスを通じた 振り返り・共有

- 共通の課題
- 個人の課題
- システム作り



第3ステージ 来年度(雇用)に向けて

- とりあえず予算取りだけはしておこう
- 6月位から始められれば・・・。

4. 取り組みから見えてきたこと

5. 考察・まとめ

- 出会いからのリカバリーストーリー
- ピアサポーターであることの喜び、自信につながれば。。。
- 帯のように、一つの流れのように、つながっていく
- 法人の規模、成り立ち、理念、地域性などを考え、足並みが揃えられる。
その上での、システム作り。ソーシャルアクション。



来年度に続く . . .